

1. 羽田再拡張事業の概要

- ・ 東京国際空港（羽田空港）は平成18年4月現在、国内49の空港と結ばれ、1日約420便が就航している。
- ・ 平成16年度実績として航空旅客利用者のおよそ64%にあたる約6163万人が利用する国内航空輸送ネットワークの要であり、今後さらに国内航空需要の増大が見込まれる中、既にその能力の限界に達している。
- ・ 本事業では、羽田空港に4本目の滑走路を新設し、年間の発着能力を現在の29.6万回／年から40.7万回／年に増強して、発着容量の制約の解消、多様な路線網の形成、多頻度化による利用者利便の向上を図るとともに、将来の国内航空需要に対応した発着枠を確保しつつ国際定期便の就航を可能とするものである。

2. 羽田再拡張事業に係る環境影響評価手続の主な経緯

平成18年3月15日 事業者（関東地方整備局長・東京航空局長）から国土交通大臣に対し環境影響評価書を送付
3月16日 国土交通大臣から環境大臣に対し評価書を送付
4月28日 環境大臣から国土交通大臣に評価書に対する意見を送付
5月17日 国土交通大臣から関東地方整備局長・東京航空局長に評価書に対する意見を送付

3. 今後のスケジュール

- ・ 関東地方整備局・東京航空局は、意見を踏まえ評価書の補正を行い、補正後の評価書を公告、縦覧する。これにより環境影響評価の手続きは終了する。